

# 長泉町国際交流協会

# NIEAだより



No.61 令和元年11月発行

ホームページアドレス <http://www.town.nagaizumi.lg.jp/soshiki/gyosei/kokusai/1004.html>



歓迎ティーパーティーにて

## ラザフォード中学校のみなさん ようこそNagaizumiへ!

長泉町の姉妹都市、ニュージーランド・ワンガヌイ市のラザフォード中学校から、9月8日から4日間、ダイアン・ヘナレ校長、ピリピ・ブレイク理事他教職員と生徒、合計7名のグループが来町しました。生徒は、8月の語学研修で長泉町の生徒達を受け入れた家庭の子供達で、今回、初の交換ホームステイが実現しました。

国際交流協会主催の歓迎ティーパーティー、町立中学校の授業参加や、町内企業見学、近隣施設見学などを通して、町民の方々と楽しく触れ合いの時間を持ちました。

ラザフォード中学校は2011年から語学研修支援事業のホスト校として、長泉町からの語学研修生を温かく迎えてくれています。ヘナレ校長からは、今後も学生の受け入れを通して更に交流の絆を深めて行きたいと、嬉しいお言葉をいただきました。





# 令和元年度 ワンガヌイ語学研修

長泉町在住の中学生14名が、語学研修生としてワンガヌイを訪れ、市内の一般家庭にホームステイをしながら、地元の学校2校（ラザフォード中学校・ワンガヌイガールズカレッジ）に分かれて授業に参加しました。

ホストファミリーやクラスメイト達との交流の中で、生きた英語を学び、国際人としての大きな一歩を踏み出しました。



ソーラン節を披露

## 滞在スケジュール

- 8月16日(金) 出国
- 17日(土) ワンガヌイ到着  
→ホストファミリー宅へ
- 18日(日) ホストファミリーと自由行動
- 19日(月) 授業体験
- 20日(火) 授業体験
- 21日(水) 近隣施設見学
- 22日(木) 市長主催歓迎会・市内見学・  
授業体験
- 23日(金) ワンガヌイ→  
オークランド市内観光
- 24日(土) 帰国



授業風景



授業風景

## 参加者名簿

角田 柊	リーダー／中学3年
諸岡 ことほ	サブリーダー／中学2年
金井 椋 佑	サブリーダー／中学3年
大里 遥 加	中学1年
高木 優 寿	中学1年
橋本 結 美	中学1年
永島 美 羽	中学1年
成瀬 未 由	中学1年
佐藤 瞭	中学2年
川嶋 乃 愛	中学2年
佐々木 翔 怜	中学2年
山田 蒼 葉	中学2年
大川 は な	中学2年
齋藤 優 羽	中学3年

自然保護公園で  
NZの動植物の  
レクチャーを  
受ける



# 協会長 新旧交代しました



## よろしくお願ひします！

新会長 長島 郁夫さん



長泉町国際交流協会会長に就任しました、長島郁夫です。

私の国際交流協会との関わりは、30年近く前、ワングヌイの学校教員の女性が我が家にホームステイしたのが始まりです。彼女とは、平日は帰宅後、一日の出来事を話し、週末は箱根や伊豆などの観光地を訪ねながら色々な話をし、とても楽しかったことが思い出されます。そして、自分たちがニュージーランドに訪問した時には、彼女の家にいき、家族の皆さんとも仲良くなり、相互にホームステイしながら交流を深め、現在では家族のような関係になっています。

これをきっかけに、海外の方々とのいろいろな交流をしたいと思い、ワングヌイからの訪問者や近隣

市町の海外学生受け入れ制度で派遣された学生をホームステイで受け入れるなどの活動も行ってきました。

今年はラグビーワールドカップが日本で開催され、たくさんの外国人が日本に来訪しています。また、来年は東京オリンピックが開催され、さらに来訪者が増えると思います。

協会員の皆様には、今後、ますます外国人来訪者が増加していく中で、協会の活動を通じて、国際的感覚を磨き、大いに活躍していただけたらと思います。

また、昨年度の姉妹都市提携30周年を機に、より活発となったこの国際交流協会の活動を更に発展させていければと思います。よろしくお願ひします。



## お疲れ様でした！

前会長／相談役 小椋 紀勝さん



平成最後の昨年、姉妹都市提携より30年を迎えた事を、ワングヌイ市民と長泉町民で喜び合いました。

新たな年号・令和を迎え会長職を退き、有能な後輩に会長職を引き継ぎできたことは幸いです。

先人達のご努力ですっかり姉妹都市交流も定着しています。協会には、これからも後に続く人達のために種を蒔き、耕し続けてほしいと願ひます。協会活動は色々な団体の人たちに支えられてきておりますが、特に毎月二回開催されている土曜サロンの皆さんからは、特に絶大なご支援をいただいております。元会長の故中村友信氏

も、開設以来毎回土曜サロンに出席され、氏からその都度高邁なお話が聴けたことを有難く思い出します。土曜サロンは会員会費で独自に運営されていることも特筆すべきことです。今後ますます多くの方々の参加で、国際交流の後押しをいただくことを希望するものです。

ラグビーワールドカップ日本大会や、2020年東京オリンピックと、世界中から外国人が集まる機会が増えています。協会の目的でもある、町民の英語力アップが活用され、交流が広がることを期待しております。



# あんな国、こんな国、海外滞在記

## ベルギー王国 Kingdom of Belgium ～美食と芸術の都～



2010年から夫の転勤に伴い9年間ベルギーの首都ブリュッセルで暮らしました。先祖代々のベルギー人は人口の20%で、自宅のアパートにもブラジル人やフィンランド人などが住んでいる国際色豊かな街でした。家は石造り、道路も石畳で、100年以上前の建物も大切に手入れして使われています。ベルギーはヨーロッパの心臓と呼ばれてNATOやEU本部が置かれ、交通網が発達しているのでパリやロンドンへも日帰りで行けます。

秋から冬は雨が多く、朝9時過ぎまで暗いので外出が億劫になりますが、家を居心地よく飾るキャンドルや花が売られ、音楽会なども開かれます。春になると青空が広がり、近郊の森では花々が咲き、あちこちの城の開放が始まります。夏は夜遅くまで明るく、スポーツや散歩、映画などを楽しめます。

レストランはどこもおいしく、食事は文化の一部と考えられている、まさに美食の国ですが、本格的な料理をする人は少なく、お店の総菜を温めたり、夕食がチーズとパンだけということも。キッチンが広くても、シンクが日本の洗面台程度の家が多くてびっくりしました。

フランス語ゼロからの駐在で、毎日が良くも悪くもカルチャーショックの連続でしたが、ジムやフランス語等の習い事をはしごし、毎週金曜日は重度障害児を車いすに乗せて散歩に出かけたり、東日本大震災の被災者や、国内の施設に寄付する資金集めで手芸品を作ったり、和菓子の教室を開いてバザーや蚤の市に出店したり、思えばとても精力的に活動していました。これらを通して多くの人ととても仲良くなり、BBQや夕食、音楽家を招いてお屋敷で開くコンサート、別荘での週末などに幾度も呼んでいただきました。

ベルギーでの生活に慣れるまでに3年、生活のペースを掴むまでに3年、やっとここで楽しく暮らしていけると自信がついた頃に帰国の辞令がありました。友人と「また必ず会いましょう。」と約束して帰国しました。（阪田 裕美）

**MEMO**  
首都：ブリュッセル  
人口：1,141.3万人（2019年1月）  
通貨：ユーロ  
言語：オランダ語・フランス語・ドイツ語



ハルの森のブルーベル（野生のヒヤシンス）



クリスマスのブリュッセル市庁舎



隣の男爵家のパーティー

N.I.E.A.....Nagaizumi International Exchange Association

発行 長泉町国際交流協会 編集 長泉町国際交流協会広報委員会  
編集委員 長島はるみ 吉川美紀子 八山富美代  
連絡先 長泉町役場行政課内 協会事務局 長泉町中土狩828 TEL 055-989-5500